

令和6年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
社会福祉				講義		荒木 園子	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	2	30	15	後期	幼免：選択	保育士：必修	
[授業の目的・ねらい] 保育士という社会福祉分野の一専門家として、援助活動をするにあたり必要な基礎知識を身につけることを目的とする。							
[授業全体の内容と概要] 教科書をベースに社会福祉領域全体を概観し具体的な支援事例にも触れながら、社会福祉の現状と課題を講義する。							
[受講上の注意事項] 授業の終わりに回収するコメント用紙が成績評価に関わるので、欠席した場合は後日、当該用紙を提出すること。							
[使用テキスト] 社会福祉とわたしたち 萌文書林				[評価基準] 出席状況と授業態度(40%) 期末レポート提出(60%)			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	社会福祉と私たち～ガイダンス(授業の進み方と受講のポイント)			本講義の全体像を教科書をもとに概観し、授業のコンセプト、進み方、提出物、評価ポイントについて等をガイダンスする。			
2	社会福祉の理念と歴史			社会福祉とは何か？について基本的な考え方の枠組みを講義し、各自の考える「社会福祉」の基準や定義について考察を促す。また日本における社会福祉の歴史について概説する。			
3	現代社会の生活問題			現代社会の生活問題として、自殺率の増加、貧困、ネット社会と孤立、「少子高齢化」などさまざまな問題があることを概論しつつ「生活」を支えるということを考えてゆく。			
4	福祉行政と実施体系			社会福祉の公的機関や民間機関を概説し、連携と協働の課題やシームレス(つぎめのない)というテーマ、ワンストップサービスの試み等にも触れてゆく。			
5	社会保障制度とは何か			社会保障とは国民の生活の安定が損なわれたときに、公的責任で生活をささえてゆくものである。その具体的な制度や内容を概論する。			
6	社会福祉の専門職			社会福祉の専門職について国家資格、認定資格などの区分を学ぶとともに、民生委員や里親などのボランティア活動についても広く概説する			
7	障がい者福祉施策			障がい者福祉施策が隔離・分離から共生・ノーマライゼーションへと変わゆく現代において、どのような福祉サービスが行われているのかを概観する。			
8	子ども家庭福祉			子育て支援に関わる制度と施策について概論する。			
9	少子高齢化社会と高齢者福祉			高齢者福祉のしくみである地域包括ケアシステムについて学び、高齢者を支える社会の制度について概観する。			
10	相談援助の原理と技術①			「相談」は、する側にもされる側にも必要な「知識」と「技術」があることを解説する。カウンセリングとケースワークについても併せて触れてゆく。			
11	相談援助の原理と技術②			相談援助に必要な面接構造・面接技術について概論する。			
12	相談援助の原理と技術③			相談援助における援助者の側のメンタルヘルスについて講義する。			
13	権利擁護と苦情解決			いわゆる「弱者」の代弁者として、権利擁護活動について学ぶ。			
14	社会福祉の動向と課題			諸外国の社会福祉制度を学ぶ。ヨーロッパだけでなくアジア近隣の国々を比較することで日本の現状をより深く理解する。			
15	まとめとふりかえり～Q&A特集			各授業で寄せられた質問や感想に答えつつ、これまで扱ったトピックスのふりかえりをする。			
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							